

三人と 二つの りんご

小川未明

青空文庫



「かずおちゃん、どうして なみだを だしたんだい？」  
と、たろうさんが ききました。

「よしおさんと しげおさんが ひっぱったんだよ。」

「なんにも しないのに？」

と、きみ子こさんが いいました。

「あそびに こいと 行って、りょうほうから ぼくを ひっぱったのだ。」

「なあんだ、かずおちゃんが、いなかへ 行って きて、めずらしいからだ。」

「いなかの おじいさんも いいけれど、とうきょうの おじい

さんも いいな。」

と、たろうさんが いいました。

「おじいさんの ところへ、あそびに いこうよ。」

「ええ、いきましよう。」

おじいさんの おうちは、ちかかったのです。三人にんは かけだ  
しました。

「おじいちやま、あそびに きました。」

「よく きた。さあ おあがり。なんにも やる ものが なく  
て こまった。りんごが 二つ あるから、ちえだめしを して、  
よく できた ものに 一つ、あとの ふたりに はんぶんずつ  
やると しよう。」

「むずかしい もんだい？」

「いや、やさしい もんだいだ。おとうさんと おかあさんと、

どちらが すきですか。」

いちばん 小さい<sup>ちい</sup> かずおちゃんが、

「ぼく、おかあさん。」

と、すぐに こたえました。きみ子<sup>こ</sup>さんは、

「わたし、わからないわ。」

と こたえました。おとうさんに わるいと おもったからです。

「ぼく、どちらも すき。」

と、たろうさんが こたえました。

「みんな よく できた。」

と、おじいさんは わらいながら いいました。そして、いろいろと かんがえた のちに、

「かずおちゃんが いちばん よく こたえました。ですから、かずおちゃんに りんごを 一つ あげます。あとの ふたりに は はんぶんずつ わけて あげます。」

と いいました。

# 青空文庫情報

底本：「定本小川未明童話全集 16」講談社

1978（昭和53）年2月10日第1刷発行

1982（昭和57）年9月10日第5刷発行

初出：「セウガク一年生」

1939（昭和14）年3月

※表題は底本では、「三人人《にん》と 二つのりんご」となっています。

※初出時の表題は「三人ト二ツノリンゴ」です。

入力：特定非営利活動法人はるかぜ

校正・・Juki

2012年7月16日作成

2012年9月27日修正

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.w.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。



# 三人と 二つの りんご

小川未明

2020年 7月13日 初版

## 奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail [info@aozora.gr.jp](mailto:info@aozora.gr.jp)

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>  
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。  
<http://tokimi.sylphid.jp/>